



## 健やかな「からだ」と「こころ」を育む 運動習慣を…

連日、「新型コロナ」に関する報道が続いています。外で元気に遊ぶ機会が減り、不安な気持ちで過ごす子どもたちも多いようです。ご家庭での様子はいかがでしょう。

さて、例年、夏休みまでに、子どもたちの「体力・運動能力」と「日頃の運動習慣や生活習慣」について、全国的な調査が行われてきました。本年度は、「コロナ禍」のため、体力や運動能力の実技テストは中止となり、下に示す通り、5年生への質問紙調査を実施し、日頃の運動習慣等についての分析が行われました。

本校は、「大規模改修」が続き、運動場の使用が制限されるなど、厳しい状況が続いています。今後も、制約の中ではありますが、いろいろな工夫をしながら、一人一人の体力や運動能力を育てていきたいと思えます。以下、結果をお知らせいたします。



スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

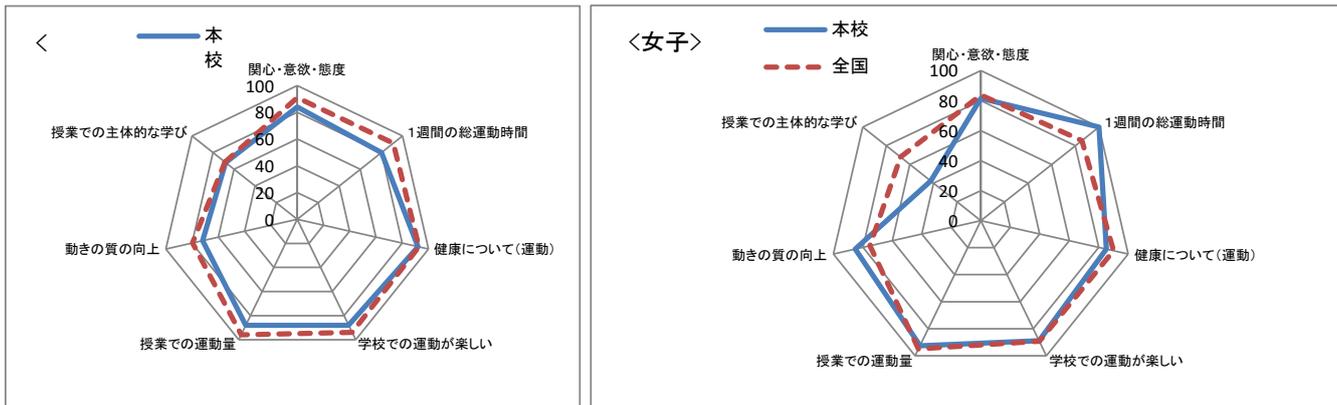
### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

● 本校は、令和2年度より4年計画で「大規模改修工事」が進んでおり、運動場の全面使用ができないなど、児童の運動量の確保が課題となっています。更に、2年近く続く「コロナ禍」で、体育科学習も大きく変わろうとしています。このような難しい状況の中で、児童一人一人の運動量を確保し、体力の向上を図ることは、本校の大きな命題と言えます。

・ 男子は、全国平均とほぼ同程度ですが、項目によっては少し低い傾向が見られます。特に、「1週間の総運動時間」においては、全国平均と比べ10ポイント以上低くなっています。

・ 女子では、「1週間の総運動時間」について、肯定的な回答が100%となっており、運動習慣が身に付いていると分析できます。また、体育の授業で、「自分の伸びを感じている」児童も、全国平均を上回りました。しかし、運動に「自分なりの目標を立てて」取り組んでいる児童は、全国平均に比べ25ポイント以上低いなど、グラフの形に大きな歪みが見られます。

・ 男女を総合的に見ると、傾向にばらつきがあり、男女ともに「高い」または、「大幅に低い」という項目は見られません。学校全体の傾向を捉えるのは、少し難しい面がありますが、懸念された「運動離れ」には至っていません。

・ 運動環境の厳しさが、あと2年続くことを踏まえ、今後とも、児童の運動機会や運動量を増やすとともに、体育科学習の更なる質の向上を図っていく必要があります。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

● 「大規模改修」や「コロナ禍」に伴う困難な状況の中、児童一人一人の体力向上を図るためには、体育科学習の質の向上が何より大切です。そこで、下の4点に留意しながら、学習を進めます。

- ① 運動量の確保 ⇒ より適切な準備運動や場の設定、学習過程などを工夫します。
- ② 主体的な学びの構築 ⇒ 一人一人が、自分のめあてを明確にしなが、主体的に学習を進めます。そのために、記録シートや振り返りなどの工夫を行います。
- ③ 生涯体育につながる体育学習 ⇒ 運動が苦手な児童も、自分のペースで楽しく取り組み、運動が好きになる体育の学習を目指します。
- ④ 年間カリキュラムの工夫 ⇒ 体育館や運動場の改修に伴い、体育科カリキュラムの見直しと組み換えを行い、単元の未履修を防ぐとともに、効果的な運用を図ります。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

● 「運動委員会」を中心に、朝や休み時間に一人一人が楽しみながら取り組める活動を提案し、児童の運動機会や運動量を増やします。

- 例 しっぽ取り集会 「持久走カード」 「縄跳びカード」 など
- ・ 限られた空間でも取り組めるもの
  - ・ 一人一人が継続的に取り組み、「頑張り」や「自分の変容」が見えるもの
  - ・ 委員会児童の創意・工夫が生かせるもの

※ こちらの結果は、本校HPにも公表していきます。